

令和印章修鍊会

コロナに負けるな大印展!!

作品集



大阪府印章業協同組合

今和印章修鍊会

御挨拶

大阪府印業協同組合 理事長 平 安 隆 一

平素より大印組合にご支援ご協力をいただきましてありがとうございます。

本年は、新型コロナウイルスによる影響で当組合の最大の事業である大印展が中止となりました。それは技術を目指す者がひとつの目標を失うことでもありました。技術は、発表の場があつてこそ意欲を持つてその研鑽に励めるものです。このままでは若い技術者の向上が止まってしまう。危機感を抱いた指導者たちは苦心惨憺智恵を絞り、この「令和印修鍊会」を企画いたしました。

これはただの作品披露の場ではありません。それぞれが先生方から厳しい評価をいただく、それも公示の場で。今までにない緊張感と真剣さが、各人の技術の向上に寄与したことは間違ひありません。指導する側もされる側も本来の形が、この厳しい状況下の中で原点に戻ったような気がいたします。

今回点数による順位は付いていますが、出品された全ての方々が次のステージで一つも二つもレベルアップした作品を見せてくれると信じております。今後もより一層の『修鍊』を期待しています。

最後に、審査にあられた審査員の先生方、運営をいただきました技術委員会の皆様、その他関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

令和二年十一月

木口角印之部 小篆

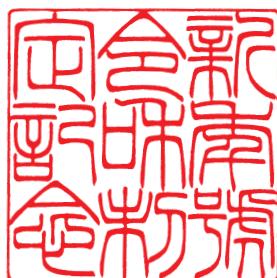
最優秀



長野県 桜井 優

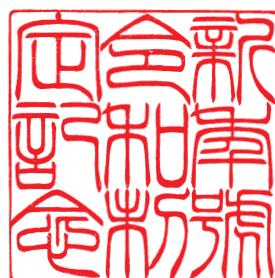
(89点)

刀の切れも良く上位作。但、年・令・定が他字に對して小さく、和・記が大きく見える。今後大いに期待します。(大) 総合的に良く出来ている。刀法に於ける表現力も好調です。佳作。(記の下部伸び過ぎ念字が押され小さい)(福) 定、少し小さく納まりすぎ。切れ味ある刀法だが横縦に力強さ欲しい。(右) 九文字の課題に対しても各文字の大きさに注意したい。ここでは「年」定が小さく見える。(長) 良い納まりであり、文字の結体も良好ですが、令・定字小さく見せない工夫が必要。横画に強さが欲しい。(金)



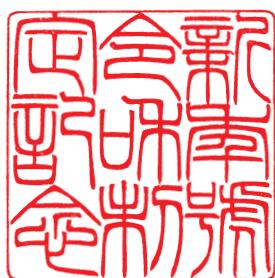
福岡県 上津原千永
(85点)

スッキリと出来ているがバランスの悪い所有り。禾の上と下のアキや新の偏と旁の大小は反対。全体に堅い。(大) 文字の姿、全体の纏まり共に良く出来ています。線質も穏やかに表現され佳作。(福) 転折部分が堅い。各文字、調和せず納まり悪い。(石) 左右の枠と文字の距離に比べ行間が広く、更に中行が広く全体のバランスを乱した。(長) 枠の周囲が窮屈であるが、切れ味鋭く筆意も良い作品です。転折部分がやや堅く、やらかさが欲しい。(金)



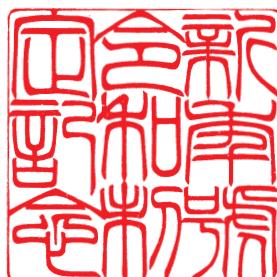
大阪府 亀田なぎさ
(86点)

バランス良く出来た作。但、斤、刀、心の筆意がわざとらしく無理に墨溜を作らない。筆意よければもつと上。(大) 一行目配文幅狭いが、文字の姿全体の纏まり良く線質も穏やかに表現され佳作。(新) の斤・制の刀部大きい(福) 納まり良く、しつかりした刀法であるが、縦画もうひと削りしたい箇所有。(石) 良く纏まっているが小篆として重心を上げた特徴を持つが「和」の口部少し上げたかった。(長) 確かな表現力と刀法であるが、字画の少ない文字と多い文字の割合、調和を一考したい。切れ味は良好です。(金)



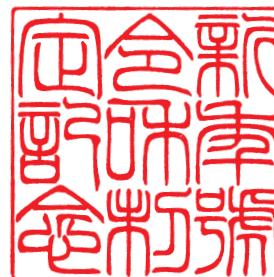
滋賀県 藤井浩達
(87点)

印影が悪いが上位作。定が上つまり、下の記が大きくなつた。年が小さく制が大きい。念のへ左右同じ。(大) 記の字下に伸び過ぎ念字が押されたが姿纏り良く切れ味も申し分ない佳作。言偏二画目部分狭い。(福) 定、修正要す。起筆の処理を柔らかくしたい。(石) 全体の構成として引き締まつたすばらしい作品。ただ印影や印箋の貼り方等、丁寧に取り組みたい。(長) 文字の形、筆意表現も良好ですが、号・制・記字が大きく、令・定字が小さく見えます。全体の構成が重要。(金)



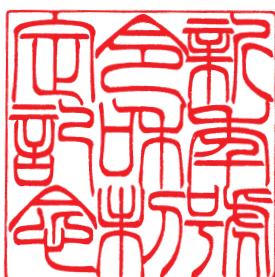
宮崎県 相馬宗典
(77点)

全体に重たい作。締める部分を考えたら良くなる。もう少しゆったりと。(大) 一行目幅大きすぎです。令定も大きい。和制の文字幅狭いです。(福) 文字間窮屈、他字への喰込みは控えたい。定、念、下部の空間を生かす処理をしたい。刀法は良好。(石) 綺麗な仕上げをしているがここまで文字大きく入れるとかえて伸びやかさに欠けてしまう。(長) 跳動感のある作品ですが、納まりが大きく、起終筆が鋭角に過ぎている。もう少しやわらか味が欲しい。(金)



広島県 横田泰行
(78点)

バランスはまずまずだが変な墨溜りのコブが気になる。もう少しスッキリと、制の刀、形悪し。(大) 令定の字大きく重心下がつて新の字小さい。文字の姿良いので配文更に徹底鑽磨に努めて下さい。(福) 口の処置一考要す。念の心、制の旁修正したい。転折部の丸みを控えたい。(石) 全体に良く纏めているが「令」の検字でしつかり字幅のある篆書を選ぶと更に良かつた。(長) 転折部分の丸みが過多で迫力が乏しい。堅い丸みを応用する事が重要です。線質に切れ味と力感が欲しい。(金)



岡山県 椿山幹夫
(81点)

小篆が分かれています。この調子で研究する事。多くの作品を見る事。(大) 令定の字大きい、念が小さい。令の字形良くして令定の下部に空間を作る全體の纏まり良く更に佳印となる。(福) 切れ味良く、線質筆意表現良く出来ます。文字の接触はなるべく避けたい。令定、納まり悪く落ちつかない。(石) 丁寧な作品作りは見事です。「令」を一考すると更に良くなる。(長) 縦画線質に細すぎる部分が見られるが、刀法は見事で切れ味もあり垢抜けた作品です。縦横画線質差は一考。(金)



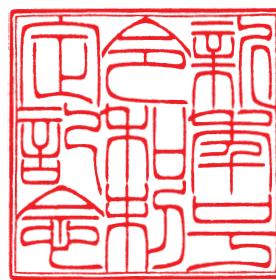
大阪府 中島伸昌
(73点)

配字はバランスは出来たが、何せ印影が悪い。良ければもう少し上に。何事も丁寧に。(大) 制の字旁りが小篆でなく印章新体。文字の姿、全体の纏まり共に良く出来た佳作なれど、常用漢字と旧漢字の混用作にて減点(福) 押し方悪し。納まりは良いが、仕上げ刀法の修練を。(石) 出来上がった作品の印影が不鮮明では作品をアピールすることが出来ません。朱肉の調整を。(長) 全体の納まり、文字の形は良いので、線質の安定できる刀法の上達を期待しております。交差箇所は慎重に。(金)



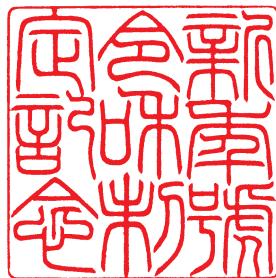
東京都 堀松高志
(75点)

小篆風ゴシック体みたい。ロボットの文字。もっとと印刀で切れ味を出す事。筆意の研究を。(大) 新制念の字が少し小さい。線質が重く感じられるがゆつたりとした納まりで佳作。(福) 納まりに大きさが欲しい。全体にもうひと削り。終筆の処理は上位作を参考に。(石) 一般的な仕事としてはこれで良いが、作品としては仕上刀の切れで筆の脈意を表現したい。(長) 正確な刀法、文字の形納まりも良く出来ているが、線質が太く、やや平坦なのが惜しい。筆意に流れが欲しい。(金)



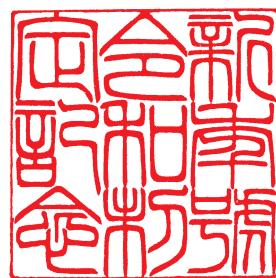
千葉県 神尾静雲
(77点)

小篆の切れ味は良いが少し細い。令の下のアキと念の心に不自然さを感じる。もっと力はあるはずの作。(大) 令定の二文字大きい。令字形良くし令定の下部に空間を作ると全体的に落ちつく配文となります。(福) 二重枠の為減点。(石) 字形については悪くはないが枠の仕上げが良くないのを、子持ち枠がさらに強調してしまった。(長) 味のある線質で、切れ味もすばらしい作品です。印篆文字の選字、過度の空間等、その意图は何故でしょう。(金)



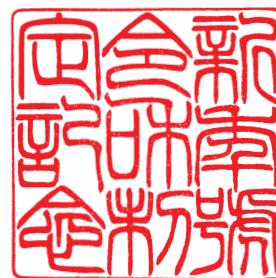
愛知県 長束年晃
(72点)

独自の小篆を感じる。多くの小篆の作品を見ること。制が大きくなつた。(大) 定の字少し小さかつた。全体の文字の姿纏まりは良いが、やや横線太くすれば更に佳印となる。(福) バランスの取れた丁寧な布字から始めたい。納まり悪く、全体に調和とれていない。(石) 起筆収筆を三角に仕上げると本来あるべき長さに見えなくなるので注意したい。(長) 偏と旁の割合が不調。中行の制の字大きく、全体と整わない。必要以上に線の動きがあり、落ち着きが欲しい。(金)



愛知県 田中裕康
(72点)

新の左の頭が苦しく令のマの形が悪い。念が小さくなつた。(大) 令の字新の斤制の刀部記の己部大きいです。新と記の二画目狭い。配文を更に研鑽に努めて下さい。(福) 転折部を柔らかく処理し、縦画をもうひとつ削りたい。(石) 部門は小篆だが印篆の考えを少しあれない、文字が窮屈に見える。「新」の偏の上部など。(長) 枠の周囲が窮屈。号字の偏と和字の口部大きい。文字の形は悪くないが、太さの未調整が気になります。(金)



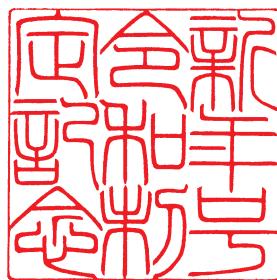
岡山県 西田朝代
(73点)

苦心してます。全体に太い。小篆の形は理解できているので、上位作を参考に研究。(大) 一行目配文狭い。文字の姿纏まり共に良く出来ています。線質がやや重く感じられますが佳作。(福) 納まりは良いが、全体にもうひと削りしたい。捺印悪い。(石) 所々が歪んで見える。特に左右相称部については外側の輪郭を同形にしたい。(長) 文字の形、納まりは良好ですが、歪んでいる文字もあり、やや線質が単調です。太さの微調整が欲しかった。(金)



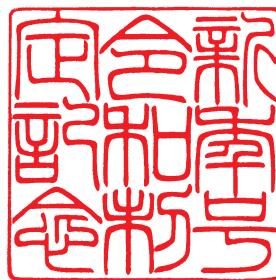
大阪府 木俣謙二
(64点)

勉強中なのは分かります、上位作を見て研究する事。（大）令定の字大きい。念小さい。新と記の二画目近く斤大きく制の刀部大きい。全体の纏まりを考え配文を。（福）小篆は流れるような表現力が大切です。上位作品を参考に。（石）文字の中心線が乱ると非常に目立つ。「年」「定」「念」など。また斤の形が不自然。（長）全体に一杯に納まり過ぎています。偏と旁の割合を意識して文字の形を整えて下さい。刀法の修錬あるのみ！（金）



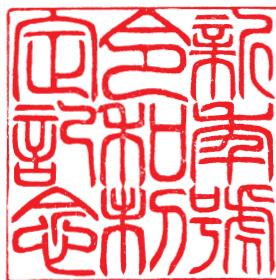
愛知県 柴田大次郎
(65点)

個性のある作。全体に堅い。新は形悪い。年も他の年にしたら。部分的に大小がある。（大）切れ味は良いのですが小篆の筆意が出せば佳作となる。更に徹底研鑽に努めて下さい。（福）全体的に線の太さが欲しい。年字形変更したい。（石）一見スッキリしているが「年」「号」「令」が幅のない篆書を選んだ為、全体の締まりに欠けた。（長）全体が調和せず刀法の良さが生かされていないのが残念。年字の中心線傾いた。字法・章法あつての刀法！（金）



東京都 藤巻昌作久
(71点)

文字の太い細いが有り、文字の大小もあります。令と念を見ること。右行は良い。（大）切れ味良い作ですが、新年念の字小さいです。全体の纏まりを考え配文を更に研鑽に努めてください。（福）縦画を丁寧に處理すると全体に明るくスッキリするはず。（石）作品の枠は文字を引き立たす為にもっと細く仕上たい。斤部など文字の太さも揃えたい。（長）右行がやや狭く、線質細目で、部分的に不安定である。令字の屋根箇所上部を枠へ付ける事で全体が纏まる。（金）



愛知県 富川哲吉
(56点)

勉強途中です。多くの作品を見て上位を目指して下さい。（大）令定の字大きい。制の刀部大きい。全体の纏まりを考え配文と研鑽に努めて下さい。（福）線の太さ、縱・横画の太さの処理に統一感が欲しい。字入れの段階を大切に！（石）細枠の形状や文字の太さを揃えることも文字の概形を整える事など勉強することは沢山ある。（長）文字の形を整え、筆意を正確に表現する刀法の技術を磨いて下さい。納まりは概ね良好。一層の研鑽に期待！（金）



埼玉県 南雲利行
(60点)

まだ小篆の形の意味が理解不足。将来を楽しみにしてます。上位をめざす。（大）小篆の筆意を徹底研鑽に努めて下さい。（福）記念、バランス悪い。小篆の線質表現を得てしましょう。（石）字割を正確に引いてそこに文字を乗せたい。左右の空きに対しての上下の空きや狭いか。（長）全体的に散漫な印象があり、文字の形を整えたい。起終筆・転折・線質表現方法の研究を期待しております。（金）



兵庫県 小林 開
(63点)

努力を感じます。新の斤、令のマ、制の刀、記の己は形悪い。印影も丁寧に。（大）刀法に見るべきものを感じますが、中央部三文字大き過ぎます。配文を更に研鑽に努めて下さい。（福）押し方悪い。交差部分にしつかり刀を入れましょう。（石）字形は整つて見えるのに字割が想像出来ない。「念」の心の左は枠に付くなど。（長）線の太さ、筆意表現の的確さが欲しい。枠の周囲が窮屈。仕上刀の細部までの運び等、修錬あるのみ！（金）

木口角印之部 印篆

最優秀

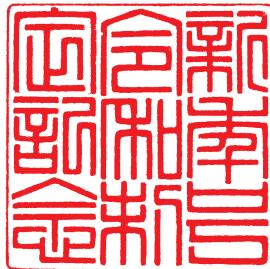


神奈川県 鈴木美菜子

(93点)

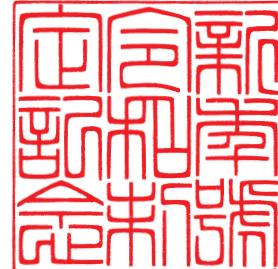
流石という言葉しか思いつかないが、作品としての令
字の結体には少々難あり。(三)

全体の纏まり良く出来てます。切れ味もあり佳作。(福)
今回のお上位作。印篆を良く理解している。(大)
印篆の特徴を良く掴み全体を良く纏め上げた。(長)
線質、筆意表現も正確であり、刀法も見事です。令・念
字の選抜は全体の調和を考えると検討の余地あり。(金)



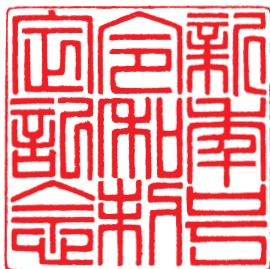
京都府 畑 秀明
(82点)

印刀のあたりあるも、纏まり良い作。印篆でも、もう少し縦画をスッキリとさせたい。(三) 令定の字大きい記小さい。定の字普通にすれば全体の構成が良くなり更に佳印となつた。(大) 異常に佳印となつた。(福) 令小さくなりました。(大) 良く出来ているが二か所の傘の斜線の角度が強過ぎ全体のバランスを乱した惜しい作品。(長) 各文字、工夫がなされているが、空間の処理が単調なのが惜しい。縦画もう一削り。細部迄の筆意表現を。(金)



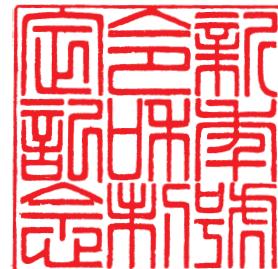
山口県 津田 剛
(91点)

三法に適った佳作。(三) 切れ味あるも令定の字がやや大きく感じます。全体の纏り共に好調な佳作。(福) 良く出来ています。少し全体に線が細い念の心の左側、普通にしたら。(大) 実用の篆書作品であればこれで良いが印篆の作品としては一行目の処理を一考したい。(長) 納まり、筆意表現共良く出来ています。刀法も切れ味鋭く、各字工夫がなされていて良作。更なる進歩に期待!(金)



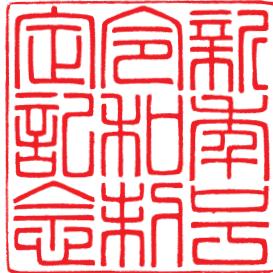
京都府 畑 秀明
(78点)

纏まりあるも、縦画に太いところが目立ちます。(三) 令制定の字やや大きい。記が小さい記の己の部分変えて普通の形で試みてみれば良かったのでは。更に佳印となる。(福) 縦線の不揃いが気になります。禾・年の中心線。(大) 綺麗に収まっているが印篆は一行ずつ整え二行の調和を図るもの。これも傘の斜線の角度が気になる。(長) 文字の結体、納まり共、良く出来ているが、線質が一本調子なのが惜しい。右行、僅か狭くなってしまった。(金)



大阪府 中島伸昌
(79点)

印影にムラあり。輪郭もう少し細めに。納まりの良い作。(三) 令字大きい。定字を普通の形にすれば全体の構成が良くなり更に佳印となります。(福) バランスは良く出来ています。印篆は枠から文字を離す。印影は丁寧に!(大) 枠と文字が接近し過ぎていて少し窮屈に見える「新」の斤部を一考したい。(長) 納まりは概ね良好です。新字の斤部に工夫が欲しかった。令字上部枠から僅か離す。捺印の技術も重要です。(金)



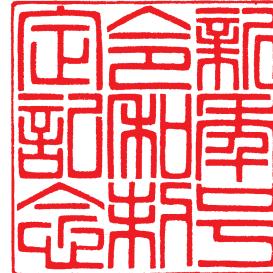
京都府 河合良彦
(71点)

金

印篆としては、少々重厚感に欠ける。和や新字、上位作を参考に。(三) 全体の纏まりも切れ味もあるも小さく配文され迫力がほしかつた。(福) まとまっていますが、刀の切れを感じません。各文字がブレている。

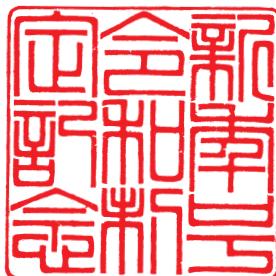
(大) 一見落ち着いて見えるが縦画に対する横画の長さ不足や各文字の左右相称部の仕上げが甘く感じる。

(長) 印篆体の表現としては、起終筆・転折が弱く、線質の湾曲が強い箇所があります。納まりは良好です。



京都府 河合祥子
(71点)

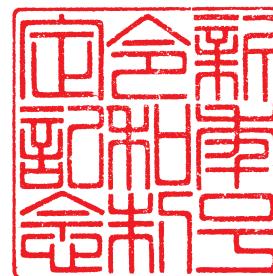
全体として文字の右下がありを感じ、その為か行間の傾きを作ってしまった。(三) 新の字が小さ過ぎ、和の字の左一画縦線有りは和の字が小さく見えます。(福) 和や制の縦がナナ目になっています。刀や心の部分太細があります。もう少しです。(大) 縦画の仕上げで文字が右に傾いて見える。これは作者の癖か。特に内側の仕上げに気を付け。(長) 文字の形、概ね良好ですが、箇所によって傾きがある。線質重すぎで太さを統一したい。刀法を慎重に!(金)



広島県 川崎智子
(63点)

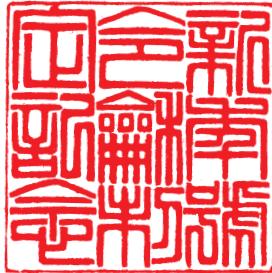
金

印篆の取り方悪し、号の左側の空き工夫を要す。(三) 令定の字が大きくなり配文され下部二文字が小さくなりました。新の斤を普通の形にすれば佳印となつた。(福) 丸ゴシック体の様に見えます。印影は丁寧に。(大) 各文字を単体で見るとそれほど悪くはないが印篆として見た時に統一感が不足している。(長) 納まりは悪くないが、全体に歪んでしまった。縦画の中心線をもう一削り。転折に強さが欲しかつた。(金)



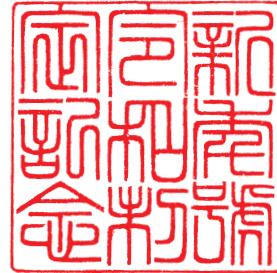
秋田県 佐々木真志
(69点)

印影の取り方悪し、号の左側の空き工夫を要す。(三) 令定の字が大きくなり配文され下部二文字が小さくなりました。新の斤を普通の形にすれば佳印となつた。(福) 丸ゴシック体の様に見えます。印影は丁寧に。(大) 各文字を単体で見るとそれほど悪くはないが印篆として見た時に統一感が不足している。(長) 納まりは悪くないが、全体に歪んでしまった。縦画の中心線をもう一削り。転折に強さが欲しかつた。(金)



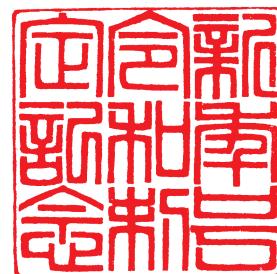
岐阜県 盛光晨啓
(57点)

和の字の工夫、流石です。刀法に難あり、文字の太さも不統一。(三) 令定の字大き過ぎ、和の字も普通で。仕上り仕上刀入れ切れ味ある作品に。今後を期待。(福) 苦労しました。和はもつと普通に。苦しい！もう少し細く仕上げたい。(大) 字割りに問題がありそうです。右の枠と文字の隙間の分だけ一行目が狭く見える。(長) 和字、意図あっての選字なのか？各文字に工夫の後は見られるが、全体の調和を考え乍ら構成して欲しい。(金)



兵庫県 鈴村忠生
(58点)

印篆としての重厚感に欠ける。転折部分が弱く、線が貧弱な感じを受ける。(三) 切れ味あるも配文小さく迫力が欲しい。定の字記の己部普通の形にすれば全体の纏まり良くなつた。(福) 考えた作ですが印篆は枠と文字を離すように。小篆風になつてます。上部三字大きい。(大) これは普段の実用印の篆書です。印篆としては一行目と二行目の混み具合を揃えたい。(長) 転折部分の丸味が過多であり、強さの表現が見られない。線質の一貫性と切れ味が欲しい。捺印を慎重に！(金)



京都府 山下政利
(54点)

一行目大きい。刀法の未熟さ目立つ作。(三) 全体の構成は良いが、太目の仕上。仕上げ刀を入れすぎっとした作品に今後を期待します。(福) 努力は見えます。(大) 枠をもう少し丁寧に仕上げると中の文字はもっと引き立つ。横画が右が下がるのは癖か。(長) 文字の形は悪くないが線質が重く、全体に右下がりに傾いている。刀法の一層の修練を期待しております。(金)

木口角印之部 古印体

最優秀



神奈川県 大賀雅雄

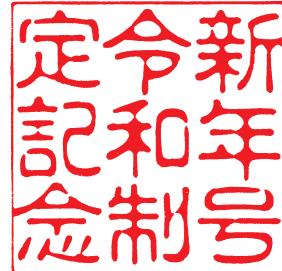
(91点)

古印体の味が出来ている。佳作。号が少し小さい。口
を少し横に大きくしたら。(大)
すつきりした納まりで切れ味良好。もう少し大きさが
欲しい。(石)
古印体の特徴である墨溜りも自然に表現出来ている配
字の構成も素晴らしい。(長)
雰囲気があり納まりも良い作品ですが、古印体の「味
わい」観点からは、「考の余地がある」と思います。(金)
刃の切れ味、文字の形体良く優れている。(八)



岡山県 吉田草心
(82点)

良く出来ている。佳作。記の己の頭は不要。(大)
少し墨溜りが重く感じる。軽快さ、のびやかさを加味
したい。(右)
文字に工夫が見られ良く纏めた「令」のマ部の点の処
理を一考したい。(長)
雅味の表現、納まりも良い作となりました。文字工夫
等なされているが、令字はやや纏まりに欠ける。(金)
新・旧文字混同を避けたい。(八)



山口県 津田 剛
(82点)

美しく納まつた。号の下部、令のマ、定の疋を一考。
言の口も少し大きい。(大)
実用印として少し力感不足だが、まとまつてます。(石)
非常に良く出来ている。しかし下部三文字の下の空き
が上部より狭く全体に下がつて見えるのが惜しい。(長)
全体の納まりが良く落ち着いた作品です。号・定字の
最終画を延ばしたい。横画の部分に豊かさが欲しい。(金)
刃の切れ良。文字の收まり良。(八)



神奈川県 鈴木美菜子
(80点)

まとまりは良いがもう少し強弱で古印体の味が欲しい。
(大)
伸びやかさに欠けるのか、小さくまとまりすぎ。線質
が平坦。(右)
落ち着いた作品です。「号」の口部がやや小さく見える
のと「令」の傘が左右同じ形は不自然。(長)
落ち着いた納まりで出来ていますが、古印体の味わいで
ある抑揚があつてこそ雅味につながると思います。(金)
文字、印影共に良く優れた作品です。(八)



広島県 横田泰行
(82点)

まとまつた作。新の斤、号の下辺、令のマ、制の刀を
一考。(大)
刀の切れ味良く、すつきりした納まりです。(石)
隸書体をベースにした古印体。安定している。「令」の
マ部が少し動き過ぎた。(長)
納まりがやや小さい。定字、下へ伸ばしたい。和字の
口部大きい。切る箇所と古印体の筆意を一考。(金)
大変まとまりのある印で良い。枠少し太い。(八)



岐阜県 日比野恭久
(72点)

まだ古印体の感じがつかめていない。上位作を参考に。
(大) 納まりは悪くないが、全体が太く重たい。縦画だけで
も細くすつきりしたい。(石) 見たからにどつしりとした作品です。これで起筆や收
筆を円形にせず自然な形にすると更に良い。(長)
各文字が大きく、字間が詰まつた。もう少しゆとりが欲
しい。起終筆の表現が強過ぎの箇所、やわらかく。(金)
大体收まり良いが少し重く感じる。(八)



和歌山県 井澤純子
(75点)

少し全体に文字が大きくなりました。(大)
もう少し交差部丁寧に通したい箇所あるが、力感ある
作品。(石) 柵付きの古印体だがなぜか文字が右上がりに歪んで見
えるのが残念。(長) 全体に納まりが大きく文字の結体を修正したい。迫力の
ある表現であるが、線質をもう少し控えめにしたい。(金)
収まりの良い上位の印です。(八)



大阪府 木俣謙二
(67点)

印刀が使いこなせていない。枠も一定に仕上げる。(大)
横画もとと丁寧な刀さばきで切れ味出したい。ふらつ
きが気になる。(石) 文字を大きく入れると文字が四角くなつて払い等文字
が伸びやかでなくなるので注意して下さい。(長)
古印体であつても線質に統一感が必要です。納まりが
大きく太すぎる箇所があり、すつきりさせたい。(金)
角印の大きさにすれば、文字大きくて太い。(八)



宮崎県 相馬宗典
(71点)

全體に大きい。号のみ小さい。上位作参考に。(大)
号定記念、丸みをつけて雅味を出したい。(石)
綺麗で仕上げも上手だが本来文字の持つている整った
概形を学びたい。(長) 文字の形、太さの表現が散漫。従つて全体の調和が必
要です。印文の構成文字の結体を工夫して下さい。(金)
文字の大小が目立つ。(八)



神奈川県 立石明日香
(65点)

古印体の作品を多く見る事。数を膨らむ事。（大）
交差部太すぎで単調。仕上刀法の修練を！（石）
整つて出来てているが作品の表現の仕方が下手です。印
影は鮮明に取る様に。（長）
古印体は雅味でなければならず、基の文字の成り立ち
に線の強弱、墨だまりを付け加えて作り出して下さい。
（金）
文字太さ無いすぎる。文字切れ味無し。（八）



兵庫県 小林 開
(66点)

古印体の作品を多数見る事！（大）
古印体の丸味をもう少し出したい。上下辺と文字間も
う少しゆとりを！捺印具合悪い。（石）
枠に対しても大きくなれると正しい文字の形にな
りません。文字の大きさを少し抑えること。（長）
雅味の表現がやや作意過剰の印象。納まり大き過ぎであ
り、結体を修正したい。墨だまり等の工夫も、考。（金）
押し型に工夫を。（印影）（八）



山梨県 渡邊直人
(21点)

誤字！念の心の点なし！（大）
念 誤字。（石）
残念ですが提出する前に内容を確認しましょう
「念？」（長）
基となる字に心して、墨だまり・線の強弱を付け加えて
雅味となります。残念乍ら念字、誤字となります。（金）
良くまとまっている。印影に工夫を。（八）



東京都 長林李石
(53点)

配字も考える事。自己流にならず、上位作を参考に研
究する事。（大）
自己流でもかまわないがこの構成ではバランス取りづ
らい。三字×三行で納めるべきでは。雅味とは？（石）
自身の成長の為作品を提出するに当たり先輩等の指導
を受けましょう。（長）
意図あっての構成と察しますが、やはり全体の調和及び
結体を工夫して布字を行なう事が必要だと思います。（金）
字配り一工夫を。文字の強弱注意。（八）



秋田県 保坂優子
(60点)

上位作を見て研究する事。（大）
全体に文字太過ぎで単調。枠も太い。文字に太細を付
けるだけでも変わる。（石）
ただ文字を枠の中に入れた様に見えます。線の太さの
抑揚を付けて枠は細く仕上げましょう。（長）
金体的に納まりが大きすぎる。枠も含めてふと過ぎる
為重い印象となりました。基と成る筆意を修正した
い。（金）
枠、文字共に太過ぎる。文字の強弱必要。（八）

木口実印之部

最優秀



愛知県 田中裕康

(92点)

明の字が小さく右に傾いた。修正していれば更に佳印
となつた。(福)
石字上辺輪郭にとられ右上がりとなつたが、三法に適
つた佳作である。(三)
文字幅石中せまく見える。(八)



和歌山県 井澤純子
(82点)

石中の字画数が少ないでやや狭く配文すると良かつた。修正していれば更に佳印となつた。(福)
少し右に寄つたが、章法良好な作。筆意表現に自信がない為か、所々重たい終筆が見られる。(三)
刀の入れ具合正確に。(八)



愛知県 富川哲吉
(87点)

少し明の字が小さい。修正していれば更に佳印となつた。(福)
良作ではあるが、印影薄く、線の表現に弱さを感じる。
バランスとしては良い章法である。(三)
明の日部分下になるほどせまく悪し、中の字先細過ぎ。(八)



大阪府 亀田なぎさ
(90点)

石中の字やや大きい。字画が少ないのでやや狭く配文すると良かった。修正すれば更に佳印となつた。(福)
切れ味ある刀法で、筆意表現も良好であるが、中を輪郭に付けてために全体が右に寄つて見える。姓大きい。
(三)
うまくまとまつた作。筆法も良い。(八)



滋賀県 藤井浩達
(76点)

石中の偏部、月の上部から下げた為明字が小さくなつた。石と延の下部アキ過ぎました。(福)
各文字が散在している為か、不調和な作。刀の切れは感じられるだけに字法、章法の研鑽を。(三)
印影うすく一工夫を。(八)



宮崎県 相馬宗典
(80点)

石中の字画数が少ないので狭く配文は良いが延大きくなつた。明字小さい。明の偏部が狭過ぎました。(福)
明字以外佳作である。明の偏の窮屈さが全体を壊してしまふ。切れ味あり、惜しい作品。(三)
明の日部分が小さい。(八)



愛知県 長束年晃
(81点)

全体の纏まり良く出来ています。佳作。(福)
納まり良く筆意表現も概ね可であるが、延字の動きや中の点の表現が他と合わない。刀法、切れ味の研究を。(三)
中の点必要か。(八)



東京都 堀松高志
(70点)

明の字小さい。日偏部月の上部から下げる。小篆の筆意の研鑽に努めて下さい。(福) 鉛重な線質で、姓が名に比して大きく見える。(三) 文字全体に太くタテ線を少し細くしてみれば。(八)



愛知県 田中裕美
(73点)

明の月部右さがりの配文になつた。修正していれば更に佳印となつた。(福) 概ね良いのだが、明字の歪みが全体の統一感を無くし、散漫な感じを呈している。(三) 起筆、終筆の先細が目立つ。(八)



岡山県 椿山幹夫
(74点)

明の字小さいです。石中の字画数が少ないのでやや狭めに配文すると良い。石の口部と中の中央少し切る。(福) 延字を多画にした為か、姓が大きく見え、明が萎縮してしまつた。(三) チョット文字太く、中のタテ線、棒に付ける方が良い。(八)



広島県 横田泰行
(76点)

石中の字や大きい。明の旁部月の上線から下げるたれ小さくなつた。輪郭細くした方が作品がすつきりします。(福) 中字の膨らみが気になるも、納まり良し。線質表現は上位作を参考に。(三) 線の流れ注意。(八)



徳島県 横田雅夫
(60点)

明の字小さい。日偏部月の上部から下げる。小篆の筆意の研鑽に努めて下さい。(福) 鉛重な線質で、姓が名に比して大きく見える。(三) 文字全体に太くタテ線を少し細くしてみれば。(八)



兵庫県 小林開
(62点)

明の偏部小さいです。上位作を参考に。(福) 明字に違和感あり。納まり大きく、分間の統一が欲しい作。更なる研鑽を。(三) 明の月の部分大きい。(八)



岐阜県 日比野恭久
(67点)

明の字が小さいです。石中の字画数が少ないのでやや狭く配文すると良い。(福) 全体に鈍重な線質。縦画をもうひと削り。(三) タテ線をもっと細くすると小篆らしくなる。(八)



東京都 長林李石
(69点)

行書古印の佳作。ただ、明の月部右縦線少し左内に入っているので右に傾いて見え明字左に寄つてます。(福) 唯一行書の作だが、明の字が輪郭にとられ傾きがある。筆意物は基本輪郭から離した方が冴えが出来ます。(三) 明の月のタテ棒が内に入った様。(八)



広島県 横田泰行
(50点)

石中の字普通の形で良い。延の旁の一画目平では正の形になり字入れで気づいてほしかった。(福) 納まり良好刀も切れていますが、中字と延字に作品らしさが欲しい。(三) 中の上の部分、角が丸すぎる。(八)



兵庫県 水田勝喜
(50点)

石の字普通の形で良い。明の字目が小さく幅が狭いです。(福) 数少ない印篆の作。評価を高くしたいが、文字散漫で納まり大き過ぎます。(三) 線のゆがみ、文字の混同悪し。(八)



岡山県 谷口定男
(52点)

すつきり感を出す作品として輪郭細くして下さい。古味出ていますが延の旁部細くなりました。(福) 古印味ない。文字散漫。まず、一文字ずつの形作りを大切に。(三) 文字のゆがみ注意。(八)



高知県 矢野宝紀
(55点)

石の字口の上部間があき過ぎです。延の旁の一画目平は正の形です。字入の時に気がついたかったです。(福) 全体として右に寄った。石字の口部分を輪郭に付けると右寄りが直ります。(三) 全体に文字小さい。(八)



兵庫県 鈴村 真
(35点)

延の字大きい。中明の字小さい。中も普通の形で良い。四文字がほぼ同じ大きさに配文して下さい。(福) 延字が誤字。中字も一考を要す。(三) 小篆中の文字を使って延は廷になつて誤字。(八)



神奈川県 月野千恵子
(43点)

実印は五分で。明が小さいです。石中の字画数が少ないのでやや狭く配文すると良い。(福) 規定の大きさを守ること。(三) 文字が小さく粹が太すぎる。(八)



京都府 森田恵子
(47点)

石中の字普通の形で良い。石中の字画数少ないので大きく見えます。配文狭くすると良い。(福) 中字一考を要すが、納まりは良い。刀法の研鑽を待つ。(三) 印影悪し。(八)

木口認印之部

最優秀



大阪府 亀田なぎさ
(91点)

文字のメリハリ良、刀の切れ優れている。(八)
三法に適った良作。清の上部の真ん中の横画とサンズ
イとの処理を工夫すると、更に佳作となる。(三)
細部まで行き届いた刃法で切れ味良し。(右)



愛知県 田中裕康
(86点)

筆法良くまとまっている。(八)
切れ味ある良作。清に比して香字に硬さを感じるのは、
文字の骨格である結体からだと思う。(三)
全体の納まりはバランス良く出来ています。交差部分を
もう少し慎重に処理したい。(右)

長野県 土屋武志
(88点)

刀の切れ味良。(八)
重厚さを感じます。今回、これが一番(三)
しっかりとした刀法で、軽やかで穏やかな作品です。
(右)

宮崎県 相馬宗典
(90点)

うまく収まつた、切れ味優良だ。(八)
切れ味のある線質から明るさを感じるが、清字青部の
重心下がつてている。(三)
しつかりした刀法で、まとまり良く出来ています。(右)



東京都 堀松高志
(80点)

文字の形体良、印影が少しボッテリ見える。(八)
清字青部の横画少々太すぎだが、納まりの良い作。(三)
青字の上部もう少しスッキリさせたい。横画の処理を
慎重に、もつたない。(右)

愛知県 長束年晃
(82点)

終筆、筆法ハッキリと表現に欠けた(八)
清字の青横画を輪郭に付けた為に、少々右寄り。下部
の空きに対して上部間延びしている。(三)
もう少し線の流れを柔らかく処理したい。サンズイ單
調で引締めたい。(右)

和歌山県 井澤純子
(82点)

さんずいの上下幅が短い。(八)
分間整い明るい作ではあるが、少々香が大きく見える。
(三)
清字に比べ香字が単調な線質表現に映りもつたない
作品(右)



神奈川県 月野允裕
(75点)

枠もう少し細ければスッキリ見える。(八)
印泥がゆるい為か?重い感じを受ける。輪郭を極細に
すること。(三)
サンズイ不安定。終筆の処理曖昧にしない。完璧な左
右対称のバランス表現を!(右)



愛知県 富川哲吉
(78点)

香タテ細い所、ゆがみに注意。(八)
香字に清字が負けている。清字の青部の重心低い。(三)
清字中心線の曲がりがバランスを不安定にさせている。
横縦画の交差部分を真っ直ぐ通す仕上げの修練を!(右)



滋賀県 藤井浩達
(78点)

文字仕上がり細く見える。(八)
(三) 上下に間延びましたが、文字の姿良く出来ています。
上下の納まりが少し大きすぎる。起筆の処理に柔らか
さが欲しい。(右)



神奈川県 鈴木美菜子
(79点)

印材の大きさに合うような太さで(少し太い)。(八)
少々太いところもありますが、古印味のある良作。(三)
少し単調な太さ表現に見える。柔らかさを加味したい。
(右)



岡山県 谷口定男
(52点)

少し文字が細く見える。(八)
納まりは良いのですが、まず印影をきちんととる努力
をして欲しい。(三)
さらなる仕上げの修練を!面擦り、押印悪し。全ての
工程にもっと時間をかけるべし。(右)



兵庫県 小林 開
(68点)

清の文字大きい、布字注意。(八)
切れ味あるも上下満杯に配字し過ぎ。(三)
清字の納まり大きすぎる。二文字のバランスを整えた
い。(右)



広島県 横田泰行
(69点)

線の流れ一工夫。(八)
清上部輪郭との関係で少し詰まり、香も左に引っぱ
られて感じる。筆意物は基本輪郭から離すこと。(三)
筆圧の表現を考えたら極細の線を取り入れるべき。(右)



大阪府 中島伸昌
(73点)

枠と文字の太さ二工夫を。(八)
もう少しきちんと印影をとりたい。サンズイ短く終り
過ぎ、清の旁重心低い。(三)
字形のまとまりは良いが線質表現が単調。(右)



兵庫県 大貫良子
(47点)

枠と文字の太さ一工夫を。(八)
香の左側の空きの為に右に寄つて見えます。章法研鑽
のこと。(三)
中輪の細篆にしてみると、字形を上下に伸ばし太さを
出したい。(五)



京都府 森田恵子
(48点)

文字のゆがみ注意。(八)
全体が上部に詰まつた感あり、刀法もさらに研鑽の要
あり。(三)
交差部の墨だまりを処理してスッキリさせたい。(石)



東京都 長林李石
(50点)

もう少し刀の切味必要。(八)
刀法未熟な為か、彫り残しもある。多作研鑽下さい。
(三)
丸印内に上手く納まる工夫をしまましょう。行書体とし
ては線質が堅すぎ。(石)



神奈川県 立石明日香
(51点)

香の字太さ一定に。(八)
刀法未熟の為か、香の字の中程に違和感あり。(三)
香、他の字選択すべき。線の太さを均一に整えたい。
交差部の墨だまりの処理を丁寧にしましょう。(石)



広島県 横田泰行
(38点)

香の字少しだ大きい。(八)
古印味があり良作であるが、規定の大きさを守ること。
減点。(三)
サイズ規格外。(石)



高知県 矢野宝紀
(41点)

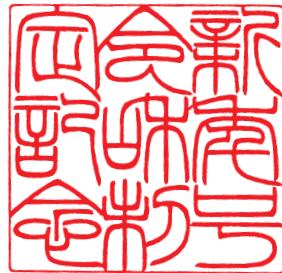
香の字、研究要す。(八)
香の字、日の部分に違和感あり、サンズイ形悪い。(三)
サンズイ一つをとっても、上位作を参考に丸印内にバ
ランス良く納める工夫を!(石)



広島県 横田泰行
(43点)

さんずいの上二本が直線的だ。もう少し柔らかく。(八)
佳作であるが、規定の大きさを守ること。減点(三)
サイズ規格外(石)

審査員 參考作品



審査員
大槻秀治



審査員
福田瑞峯



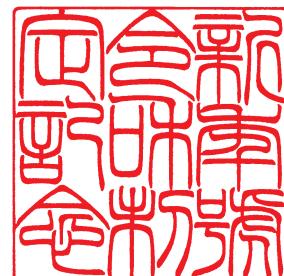
審査員
長澤 豊



審査員
石井良典



審査員
三田村 薫



審査員
金光武備

審査寸評

審査員 大槻 秀治

個々の作品の寸評を審査員がする事により出品者にはよく理解が出来るのではと思う。“なぜ”が解かるかと思う。
「昔の印の畠」の様に！

審査員 福田 瑞峯

小篆の作品、画数の少ない令と定の字の大き過ぎの作品が多かった。上位作においても印稿の段階で配文の段階で調整が必要でした。小篆の作品で切れ味も申し分なく文字の姿、全体の纏まり共に良く出来て、これが今回一番という作品において制の字が印章新体で刻されました。印稿の段階で気付いて作品製作に望んでほしかった。作品製作に当つて印稿の段階で各字の印章字林を引き、確認し、苦心練り抜く。そして配文し数日後再び20cm離して印面を観て（文字の大小が目に付く）修正し又数日後再び観て修正、又数日後も、これで佳き配文ならば印刀を執りたい。作品も、日々の印章製作に当つても慎重にして、自分の納得できる仕事を力作することで基礎を日毎に積むものです。一生勉強です。日々努力しましょう。

審査員 石井 良典

点数を付けるのは難しくないが講評には苦戦しました。
少しでも次回の出品のヒントになればいいのですが。

審査員 長澤 豊

今回の審査の着眼点について（一部）三部の木口角印の審査を担当して重視したことは、各部門の書体の特徴を理解しているか、空間（余白）の処理が上手く出来ているか、他には、仕上刀の切れ味、印影の綺麗さはもちろんのこと、印箋の貼り方等です。よろしくお願ひ致します。

審査員 金光 武備

この度の「令和印章修練会」にコロナ渦中にも拘らず、熱意をもって出品された方々に心より敬意を表します。作品の優劣は必ず出来ることですが、序列に関係なく技術向への意欲は一時的なもので終わることなく、情熱をもつて数多くの資料等を参考とされ、「字法・章法・刀法」の繰返しにより取得した技術が、皆様の財産として永久に生き続けることを期待しております。今後もどうぞこの経験を活かし、更なるご研鑽とご活躍を祈念申し上げます。

審査員 三田村 薫

今年はコロナで大印展ができないという話を聞いてから、「致し方がない」という気持ちと「それでもしなければ」という葛藤が私の中にありました。大競技会の審査にも携わらせて頂き、出品作品の質量共の低下を感じました。「コロナは、創作意欲を減退させる」という話をよく聞きます。それは、作品発表の場が無くなるからです。作品発表の場を継続していくことが、大印展の役割の一つだと私は強く思います。上位の方の論評や字法、章法、刀法への講評は先輩諸氏にお任せするとして、今まで大印展や競技会にお名前を拝見することがなかつた方の出品と、中間に位置する人の実力低下を感じます。印影の取り方の汚さ、荒彫りがし切れずにゴミが残つていたり、規格外の出品は集中力の欠如と言わざるを得ません。また、基本が出来ていない方、自己流でされている方が多いようにも感じました。継承現場である、講習会や研究会に参加されて指導を仰ぐことを望みます。

審査員 八尾 武

今回の審査で特に気になったのは、印影の粗悪さです。印影のみの審査という事なのでもう少し印影をうまくとつてみてはどうか。上位の人はさすがに上手くとつている。印泥も少し明るい色はさけ、おちついた色にしてみてはどうか。